

ポーランド ウッチ大学

[2023年9月～11月]

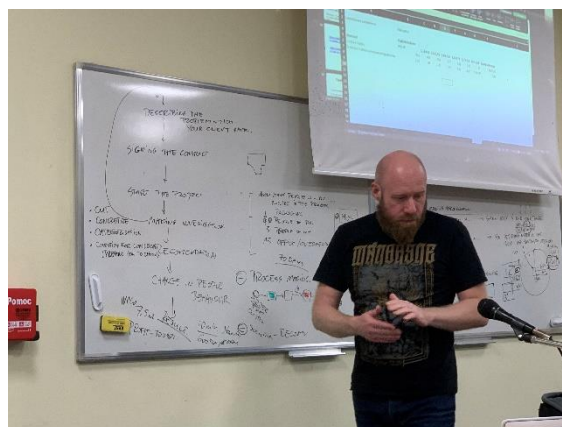
経営学部4年 田口佳佑

皆さんこんにちは。

現在、ポーランド・ウッチ大学にて交換留学中の経営学部4年田口佳祐です。私がウッチに来て3か月近くが経過しました。今回はウッチという土地での留学や生活に関して紹介します。

[授業]

私はウッチ大学においても経営学部にも所属し、他学部の科目も含め計5つの授業を履修しています。一見、半期の授業数としては少ないように感じますが、1コマ2時間半から3時間と日本より長く、また基本的にディスカッション中心の授業形式のため、異なる点が多くあります。授業は全て英語で行われ、学生同士のコミュニケーションが活発に行われます。私はマーケティング関連の授業を中心に履修しており、ヨーロッパを中心とした多くの国からの留学生と共に、ケーススタディ等をもとに意見を述べたりプレゼンテーションを行ったりしています。



英語に関しては話せる前提で授業が進むので、私自身苦労している部分が多くあります。ただ、グループでの活動がほとんどであるため、周りの学生に助けをもらいながら取り組むことができます。もし、ウッチへの留学を考えているのであれば、「自分の意見をはっきり伝えることができる」「複数人との会話ができる」を目安に学習に取り組むことをお勧めします。

[生活]



基本的に町のお店等では英語が通じないため(一部若い人を中心に話せる場合があります)、必要に応じて翻訳アプリを使用しています。物価は他のヨーロッパ諸国に比べると安く、ヨーロッパへの留学先でポーランドを選ぶ一つのメリットであると言えます。特にジャガイモやパン、果物が安く、大きいスーパーには日本のお米や醤油等も売っているため、食に関して困ったことはなく比較的快適に過ごしています。

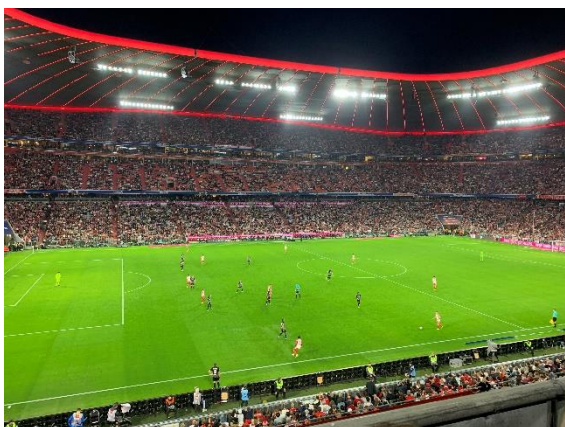
私は学生寮に住み、日本人のルームメイトとの2人部屋で生活しています。隣にはウクライ

十人の学生2名が生活しており、同じ国籍の学生が相部屋になることも増えているようです。寮によってさまざまな違いはあるようですが、シャワーとトイレが各部屋に、キッチンが各階に2つずつ設備されています。

[課外体験]

ヨーロッパへの留学におけるもっとも大きなメリットは他のヨーロッパ諸国への交通利便性の良さではないでしょうか。各国、各地域への長距離バスや飛行機が格安で利用でき、比較的少ない費用で旅行をすることが可能です。私も10月上旬、授業の開始が想定より遅かったこともあり、ドイツ・ミュンヘンへサッカー観戦に出かけました。ウッチ大学含め、EU圏の大学に在学中の学生に付与される学生証は様々な学割が利用でき、旅先でもメリットが得られます。

また、ウッチ市内においても大学や関連団体からかなりの頻度で、イベントや博物館等への案内が来るため、希望すれば多くの場所へ気軽に出かけることができ、学部にとらわれず様々な学生との交流を図ることもできます。



[最後に]

留学期間において、トライ&エラーを繰り返すことが最も重要であると、この3か月で強く感じています。私自身その点においてはまだ不足していますし、さらに授業や個人的な英語学習に励んでいく必要があります。その中で、より多くのアウトプットができる、多くの刺激を得ることができるという留学の利点を最大限活用して、帰国するまで精一杯取り組んでいきたいと思います。

少しでも留学を考えている方はまず行動してみてはいかがでしょうか。異国の地での経験は苦しいことも多く決して楽ではありませんが、乗り越えた先には必ず自分にとってプラスになる経験を得ることができると思います。